

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和8年度 滋賀県がん診療連携協議会 第1回企画運営委員会																																
開 催 期 間	令和8年7月22日（火） 17：00～18：00																																
開 催 方 法	ZoomによるWeb開催																																
出 席 者	【委員】 <table> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>足立 壯一（委員長）</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>富田 芳男</td></tr> <tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>醍醐 弥太郎（診療支援部会長）</td></tr> <tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>中川 聖子</td></tr> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>辻 将公（地域連携部会長）</td></tr> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>堀井 久子</td></tr> <tr><td>公立甲賀病院</td><td>金 哲将</td></tr> <tr><td>公立甲賀病院</td><td>中嶋 康人</td></tr> <tr><td>彦根市立病院</td><td>佐野 太一</td></tr> <tr><td>彦根市立病院</td><td>藤原 政広</td></tr> <tr><td>市立長浜病院</td><td>田久保 康隆</td></tr> <tr><td>市立長浜病院</td><td>藤原 克徳</td></tr> <tr><td>高島市民病院</td><td>柳川 環実</td></tr> <tr><td>滋賀県健康医療福祉部</td><td>西川 政宏</td></tr> </table> 【部会長】 <table> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>山内 智香子（相談支援部会長）</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>北条 雅人（がん登録推進部会長）</td></tr> </table> （敬称略）	滋賀県立総合病院	足立 壯一（委員長）	滋賀県立総合病院	富田 芳男	滋賀医科大学医学部附属病院	醍醐 弥太郎（診療支援部会長）	滋賀医科大学医学部附属病院	中川 聖子	大津赤十字病院	辻 将公（地域連携部会長）	大津赤十字病院	堀井 久子	公立甲賀病院	金 哲将	公立甲賀病院	中嶋 康人	彦根市立病院	佐野 太一	彦根市立病院	藤原 政広	市立長浜病院	田久保 康隆	市立長浜病院	藤原 克徳	高島市民病院	柳川 環実	滋賀県健康医療福祉部	西川 政宏	滋賀県立総合病院	山内 智香子（相談支援部会長）	滋賀県立総合病院	北条 雅人（がん登録推進部会長）
滋賀県立総合病院	足立 壯一（委員長）																																
滋賀県立総合病院	富田 芳男																																
滋賀医科大学医学部附属病院	醍醐 弥太郎（診療支援部会長）																																
滋賀医科大学医学部附属病院	中川 聖子																																
大津赤十字病院	辻 将公（地域連携部会長）																																
大津赤十字病院	堀井 久子																																
公立甲賀病院	金 哲将																																
公立甲賀病院	中嶋 康人																																
彦根市立病院	佐野 太一																																
彦根市立病院	藤原 政広																																
市立長浜病院	田久保 康隆																																
市立長浜病院	藤原 克徳																																
高島市民病院	柳川 環実																																
滋賀県健康医療福祉部	西川 政宏																																
滋賀県立総合病院	山内 智香子（相談支援部会長）																																
滋賀県立総合病院	北条 雅人（がん登録推進部会長）																																
欠 席 者	【委員】 <table> <tr><td>高島市民病院</td><td>中島 研郎</td></tr> <tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>丸尾 良浩（研修推進部会長）</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>花木 宏治（緩和ケア推進部会長）</td></tr> </table> （敬称略）	高島市民病院	中島 研郎	滋賀医科大学医学部附属病院	丸尾 良浩（研修推進部会長）	滋賀県立総合病院	花木 宏治（緩和ケア推進部会長）																										
高島市民病院	中島 研郎																																
滋賀医科大学医学部附属病院	丸尾 良浩（研修推進部会長）																																
滋賀県立総合病院	花木 宏治（緩和ケア推進部会長）																																
議 事 概 要	【報告事項】 1. 令和8年度の取組について 厚生労働省の「がん診療連携拠点病院等の整備指針（指定要件）」の「7 医療の質の改善の取組及び安全管理」において、医療の質の改善の取組及び安全管理が通知されている。昨年度にも確認したとおり、令和7年7月11日「都道府県がん診療連携拠点病院 連絡協議会規約 新旧対照表（案）」において、「PDCAサイクル」から「医療の質の改善」に変更となっているため、昨年度に引き続き、各施設における医療安全対策、第三者評価、患者窓口の設置、患者からの苦情や相談に応じられる体制について確認し、今年度においても、全病院が体制を整えていることを確認した。今年度は正式な通知を踏まえて、項目について、変更を検討する。 協議会・企画運営委員会および各部会より今年度の取組みについて報告あり。 （協議会・企画運営委員会） PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。協議会・企画運営委員会を年2回、リレー・フォー・ライフ・ジャパン滋賀医科大学、滋賀県がん医療フォーラムへの参加・開催予定。 （相談支援部会） PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。がん相談支援の充実を目標																																

とする。部会、ワーキンググループをそれぞれ年2回程度開催、がん相談員研修会を年度末に開催予定。

(地域連携部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランの年間目標としては、地域連携パスの目標を150件とし、大腸がんパスの見直しを予定。前年度のアンケート調査結果に基づき、評価・分析を行い、がん診療連携における情報共有の充実に努める。また、アンケート結果を基にした今後のワーキンググループ活動も予定している。

(がん登録推進部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランについては、がん登録実務のスキルアップおよびがん登録の標準化と精度向上の推進を目標とする。今年度は部会2回、研修会2回実施予定。第1回部会については、7月24日に開催予定。医療提供体制の均てん化・集約化に関し、医療機関ごとの診療実績について院内がん登録データを用いて公表することを検討している。

(診療支援部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランの目標をがん診療の支援と高度医療の推進とする。第1回部会を6月22日に開催した。がん情報サイトへの各診療支援部会および各病院のコンテンツ投稿数を数値目標とし、今年度もサイトの充実を図る。また、後述の「均てん化・集約化」に関する調査等の実施を予定。

(研修推進部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランの目標を各種研修に関する調整と計画の作成とする。部会はZoom形式を基本とし、第1回部会を7月21日開催した。第2回は2月1日を予定している。また、看護ワーキングの第1回を7月7日よりメール会議にて実施し、得られた意見に対する追加紹介を7月24日まで行っている。「がん情報しが」に掲載しているがん関連の講演会・研修会の最新情報を項目ごとに一覧化し、結果の集計を行う予定。

(緩和ケア推進部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。第1回部会を6月25日に集合形式にて開催済み。次回以降はZoom形式を予定している。県内のがん診療連携拠点病院等において、緩和ケア研修会を実施する。そのほかの研修やイベントとして、世界ホスピス緩和ケアデー記念県民公開講座、緩和ケアチーム研修会、ELNEC-J研修会を開催する予定。

2. がん診療の均てん化・集約化に係る協議と県内の実態調査について

診療支援部会より、厚生労働省の「がん医療提供体制の均てん化・集約化」に関する基本方針に基づく、滋賀県における外科治療および放射線治療に関する実態調査開始について報告あり。

外科治療においては、外科医師の総数は増加傾向にあるが、若手の外科離れや医師の高齢化により手術を行える外科医の数はほぼ変化なく、2040年には全国で外科医が大幅に不足すると予測されている。このため、集約化および均てん化の検討が急務となっている。

放射線治療においては、機器の高額化や人件費の高騰により採算性（年間患者200人以上が維持ラインとされるが、国内の半数近くの医療機関が200人未満）が課題となっている。また、滋賀県内でも放射線治療医の一時的な不足が見られたことから、実態把握が必要である。

そこで、外科治療（手術）調査項目（案）として、①医師数（常勤・非常勤）・専門医数、②年間のがん手術件数（全麻）、③部位別の手術件数（食道・胃・大腸・肝臓・膵臓・胆道等）、④ロボット手術の可否及び台数、年間のロボット支援手術件数、⑤腹腔鏡手術の可否、⑥今後の課題（医師確保等）とする。

	放射線治療の項目（案）として、①医師数（常勤・非常勤）・専門医数、②放射線治療専任の医学物理士、診療放射線技師数、③年間の延べ治療件数（新患、再患）、照射回数、④治療疾患（上位5位まで）、⑤IMRTの可否、⑥現有の装置名と設置年、⑦治療装置更新予定、⑧今後の課題（医師確保等）とする。 本委員会承認され、今後のスケジュールとして、8月第1回がん診療連携協議会にて附議・承認、9月上旬を目途に各拠点病院・診療支援病院へ調査依頼を送付、第2回診療支援部会で進捗報告・第3回部会（2月頃）で取りまとめ結果について協議し、企画運営委員会、がん診療連携協議会へ最終報告を行う予定。 なお、調査にあたっては、各病院の負担を軽減するため、前年度までの情報等事務局側で事前入力ができる部分は入力した状態で各病院へ送付し、9月1日時点の情報に更新する形で実施する。また、将来的なステップとして、県内の情勢を見据えたうえで必要に応じて「がん薬物療法」や「緩和ケア提供体制」なども調査候補であるが、現時点では「外科治療」「放射線治療」を最優先課題として進める。 3. 第18回滋賀県がん医療フォーラムの予定について 令和9年1月30日（土）13時30分より現地開催予定。会場は栗東文化芸術会館サキラの中心ホールで定員400名の予定。 特別講演として、お笑い芸人のワッキー氏に登壇を依頼し、同氏の闘病生活および仕事復帰に至るまでの経緯についてご講演いただく。基調講演は京都大学医学部附属病院 消化管外科 特定助教 山本健人先生、講演は滋賀県がん患者団体連絡協議会会長より推薦のあった会員の方（顔写真、氏名非公開）に仕事と治療の両立等に関してご講演いただく。閉会の挨拶については、滋賀医科大学医学部附属病院 野崎和彦病院長に依頼している。 4. リレー・フォー・ライフ・ジャパン2026滋賀医科大学について ・令和8年10月10日（土）～11日（日）に現地開催予定。 ・「がん患者は24時間がんと向き合っている」ということをコンセプトに、タスキをつないでコースを24時間歩くイベントであり、ブース出展や学生企画、公開講座等が企画されている。がん診療連携協議会としてもブース出展等で参加予定。事務局よりがん相談員のスタッフ協力を依頼。 ・入場料無料、参加協力金が一般1,000円となっており、寄付金はイベント開催経費を除いた全額を日本対がん協会へ寄付し、がん征圧のための活動に利用される。
そ の 他	【次回開催予定】 令和9年3月予定。

以上のとおり報告します。

令和8年 7月 22日
企画運営委員会 委員長 足立 壯一